



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 旭有機材工業株式会社

コード番号 4216 URL <http://www.asahi-yukizai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀井 啓次

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岡本 忠久 TEL 03-3578-6001

四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,910	△6.2	45	△71.3	44	△76.1	38	△75.5
24年3月期第1四半期	8,433	17.2	159	—	184	—	157	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 56百万円 (△67.0%) 24年3月期第1四半期 168百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.39	—
24年3月期第1四半期	1.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	49,672	37,803	76.1	387.06
24年3月期	49,812	38,041	76.4	389.49

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 37,803百万円 24年3月期 38,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	△5.9	200	△65.2	300	△44.9	130	△48.4	1.33
通期	36,000	5.7	1,600	37.9	1,600	40.0	1,000	893.5	10.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	99,002,000株	24年3月期	99,002,000株
25年3月期1Q	1,334,419株	24年3月期	1,332,943株
25年3月期1Q	97,668,154株	24年3月期1Q	97,678,395株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災とタイの洪水により大きな打撃を受けた自動車産業において国内生産が回復し、また水産業などに復興需要の兆しが見え始めるなど、持ち直しの動きもあるものの、欧州の政府債務問題や米国経済の停滞を背景とした円高の定着が、国内企業の生産や設備投資の海外流出を加速させ、景気は総じて低調に推移しました。海外においては、半導体や液晶の世界的な販売不振に加え、新興国においても欧州向けの輸出が伸び悩み成長が鈍化するなど、引き続き不安定な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社グループにおいては、主力製品の拡販に努めるとともに、復興需要に適切に対応できるよう販売体制を整え、また農業分野や高機能バルブ分野を重点事業分野に据えて専門組織を設置し、さらに新たな市場環境への適応を進めるため、管材システム事業の調達・生産管理・物流の組織を統合するなど、大幅な組織変更を実施しました。しかし、国内外での主要市場の需要縮小の影響が大きく、売上が伸びず、収益においても主要原料の高止まりが続き、厳しい状況が続きました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,910百万円(前年同期比△6.2%)となり、営業利益は45百万円(前年同期比△71.3%)、経常利益は44百万円(前年同期比△76.1%)、四半期純利益は38百万円(前年同期比△75.5%)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①管材システム事業

主力製品であるバルブ・パイプ・継手類の国内需要は、国内企業の設備投資の海外流出により低調に推移し、海外においても、欧米経済の低迷や新興国経済の減速などにより、売上が伸び悩みました。また、半導体市況の冷え込みの影響を受け、ダイマトリックスシリーズの販売額が大きく減少し、当第1四半期の売上高は、東日本大震災の復旧需要があった前年同期の売上高を下回りました。このような中で、物流費や一般管理費の削減を進めましたが、売上高減少に伴う利益減少をカバーするには至りませんでした。

その結果、当セグメントの売上高は5,020百万円(前年同期比△10.9%)、営業利益は107百万円(前年同期比△67.2%)となりました。

②樹脂事業

震災やタイ洪水からの国内自動車生産の回復により、鋳物用樹脂及び鋳物用レジンコーテッドサンドの売上が増加しましたが、発泡材料及び建築資材用樹脂の売上高は伸び悩み、また、半導体や液晶市況の悪化により電子材料用樹脂の業績が低迷したため、当第1四半期のセグメント売上高は、前年同期に対して若干の増加にとどまりました。また、震災直後に比べ落ち着いてきてはいるものの、主原料価格の水準が高止まりしていることから、営業損失を解消するには至りませんでした。

その結果、当セグメントの売上高は2,889百万円(前年同期比+3.2%)、営業損失は51百万円(前年同期の営業損失は131百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は49,672百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円減少しました。これは愛知工場の改築等に伴う有形固定資産の増加がありましたが、受取手形及び売掛金などの減少によるものです。負債は11,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加しました。これは未払金などのその他流動負債の増加によるものです。純資産は37,803百万円となり、前連結会計期間年度末に比べ238百万円減少しました。これは支払配当金が四半期純利益よりも大きかったことと、その他有価証券評価差額金が減少したためです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成24年5月15日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,535	4,941
受取手形及び売掛金	13,630	12,658
たな卸資産	7,185	7,039
その他	898	1,022
貸倒引当金	△25	△26
流動資産合計	26,222	25,634
固定資産		
有形固定資産	13,318	14,237
土地	6,032	6,038
その他（純額）	7,286	8,200
無形固定資産	293	277
投資その他の資産		
投資有価証券	5,310	4,866
その他	4,690	4,680
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	9,978	9,524
固定資産合計	23,590	24,038
資産合計	49,812	49,672
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,898	6,303
短期借入金	38	40
未払法人税等	79	—
引当金	—	348
その他	2,122	2,521
流動負債合計	9,137	9,213
固定負債		
退職給付引当金	1,327	1,345
役員退職慰労引当金	193	190
その他	1,115	1,120
固定負債合計	2,634	2,656
負債合計	11,771	11,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,479	8,479
利益剰余金	25,740	25,485
自己株式	△557	△557
株主資本合計	38,663	38,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△47	△189
為替換算調整勘定	△574	△416
その他の包括利益累計額合計	△622	△605
純資産合計	38,041	37,803
負債純資産合計	49,812	49,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	8,433	7,910
売上原価	5,999	5,630
売上総利益	2,435	2,280
販売費及び一般管理費	2,276	2,234
営業利益	159	45
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	22	18
持分法による投資利益	10	16
為替差益	3	—
その他	9	12
営業外収益合計	46	48
営業外費用		
支払利息	6	1
複合金融商品評価損	12	16
為替差損	—	18
その他	3	14
営業外費用合計	21	49
経常利益	184	44
特別利益		
固定資産売却益	62	—
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	66	—
特別損失		
固定資産除却損	1	15
特別損失合計	1	15
税金等調整前四半期純利益	249	28
法人税等	92	△10
少数株主損益調整前四半期純利益	157	38
四半期純利益	157	38

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	157	38
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△139
為替換算調整勘定	53	159
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△3
その他の包括利益合計	11	17
四半期包括利益	168	56
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168	56

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,635	2,798	8,433	—	8,433
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,635	2,798	8,433	—	8,433
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	327	△131	196	△37	159

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額）であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,020	2,889	7,910	—	7,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,020	2,889	7,910	—	7,910
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	107	△51	55	△10	45

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額）であります。